

グローバルスタディーズ演習Ⅲ

科目ナンバリング SEM-403
選択必修 2単位

加藤 恵美

1. 授業の概要(ねらい)

国境を越えて居住地を移す人が増え、日本でも海外にルーツを持つ人が多く暮らすようになっている。この演習では、人の国際移動を背景とした多文化共生社会のあり方を考える。この演習の特徴は、最近の移民だけでなく、過去の植民地支配にまつわる移民も射程におさめる点にある。また日本社会に焦点を合わせつつも、海外の社会と比較したり関連付けたりしながら、多文化共生社会についての複眼的な考察を行うことを目指す。

この授業(Ⅲ)では、新書レベルの本を輪読し、グループワークと発表を行い基本的な知識・技能を身につけた上で、それぞれの関心に従って個人研究のテーマを決める。続く秋学期の授業(Ⅵ)では、個人研究の進捗ならびに成果の発表を行う。

2. 授業の到達目標

- (1)移民に関する基本的な知識を身につける
- (2)移民に関する興味・関心を高める
- (3)移民に関して自主的に学ぶ力をつける

3. 成績評価の方法および基準

授業への積極的な参加(グループ発表を含む。80%)、期末レポート(グループ発表の振り返りと秋学期の研究計画、20%)

4. 教科書・参考文献

教科書

貴堂 嘉之 『移民国家アメリカの歴史』 岩波書店、2018年

参考文献

授業内で紹介する。

5. 準備学修の内容

授業内で指示する。

6. その他履修上の注意事項

授業内で指示する。

7. 授業内容

- 【第1回】 はじめに:演習のねらい、進め方についての説明(オンライン)
- 【第2回】 『移民国家アメリカの歴史』(1)1章と2章を読む
- 【第3回】 『移民国家アメリカの歴史』(1)1章と2章のディスカッション
- 【第4回】 『移民国家アメリカの歴史』(2)3章と4章を読む
- 【第5回】 『移民国家アメリカの歴史』(2)3章と4章のディスカッション
- 【第6回】 『移民国家アメリカの歴史』(3)5章を読む
- 【第7回】 『移民国家アメリカの歴史』(3)5章のディスカッション
- 【第8回】 グループ発表の準備(1)
- 【第9回】 グループ発表の準備(2)
- 【第10回】 グループ発表の準備(3)
- 【第11回】 グループ発表の準備(4)
- 【第12回】 グループ発表の準備(5)
- 【第13回】 グループ発表(1)
- 【第14回】 グループ発表(2)
- 【第15回】 おわりに:グループプレゼンの振り返りと秋学期の研究計画の立案(オンライン)